

Support of
Employment,
Living and
Participation

“SELP”とは英語のSELF（セルフ）とHELP（ヘルプ）を組み合わせた自助自立を意味する造語です。

亀の子は障がい者のための就労と生活、社会参加への支援及び児童福祉の支援を目的に活動しています。

社会福祉法人 亀の子

〒694-0041 島根県大田市長久町長久口267-6
TEL0854-84-0271 FAX0854-84-0272

ホームページ [亀の子](https://www.kamenoko.jp) [click](https://www.kamenoko.jp)
<https://www.kamenoko.jp>

✉ E-mail info@kamenoko.jp

2023.7 改定

さわやかに
明るく
さりげなく
豊かな出会いを



亀の子
KAMENOKO SELP

自立支援
障がい者
サポート

地域で育てる
子ども
サポート





KAMENOKO SELF

亀の子

理念

「障がい者を世の光とする」メッセージである。人として、生きるメッセージを与えていく場である。

亀の子は、バリアフリー・ノーマライゼーションの実現そして、ユニバーサルデザインの時代への地域福祉の貢献の場であること。

一人ひとりの個性や能力に合わせて、「自分の人生の主人公は自分である」ことに気づき、自立生活を支える場であること。

さわやかに、明るく
さりげなく、豊かな出会いを

自己選択、自己決定、自己責任、自己実現を支えて、QOL(クオリティ・オブ・ライフ)となるように、豊かな出会いを実現する場であること。

子どもの人権を尊重しながら、働く父母や地域の多様化する要望に応え、愛される保育園を目指す。



共に生きよう

「地域共生社会」の実現にむけて

当法人は、1997年の開所以来、利用者一人ひとりの歩みを大切にしながら、一步一步福祉サービスの充実と地域福祉の発展に貢献してまいりました。そして、利用者が個人の尊厳を保持しつつ、心身ともに健やかに育成され、又は自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援することを目的とし、今日では障がい福祉及び児童福祉を総合的に運営しています。

平成から令和の時代になり、家族・地域社会の変化に伴い複雑化する支援のニーズへの対応や人口減少社会における福祉人材の確保と質の高いサービスを効率的に提供する必要性の高まりは増すばかりであります。 「地域に生きて暮らしている以上、誰もが支え・支えられるものである」という考え方のもと、地域の資源や人の多様性を活かしながら、人と人、人と社会がつながり合う取り組みが生まれやすいような環境を整えることを目指し、共に生きよう「地域共生社会」の実現にむけて積極的に活動してまいり所存です。

禅語に「我逢人（がほうじん）」という三文字の言葉があります。人と逢うことで私たちは多くを学び、特別な出逢いは自分自身を大きく深く変えるほどの力を持ち、人と出逢うことの尊さを教えてくださっています。亀の子はこれからも人と人との繋がりを大切にし、地域福祉社会で愛され親しまれる存在として努力してまいります。どうぞ今後とも皆様のご支援・ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

亀の子サポートセンター

ジョブ亀の子

のほほん

タートルホーム

ふぁみりーわーく

うどん処おおだ

亀の子工房

遊 亀 館

たから保育園

かめっ子クラブ

かめっ子クラブⅡ

社会福祉法人 亀の子
理事長 森山 康仙

障がい者自立サポート



障がい者とその家族の支援と相談窓口



相談アドバイス

日常生活の悩み、各種制度利用のアドバイスなど地域で生活をする上での支援を行っています。

大田市障がい者等相談支援事業

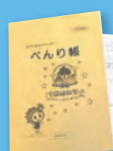


大田市で生活する障がい者（児）とその家族を支援して、在宅障がい者の自立と社会参加を目指し、個々の特性に応じた療育の推進を図っています。

特定相談支援事業

個々の障がい程度や勘案すべき事項を踏まえ、障がい福祉サービス利用の新しい計画と立案の作成、また、計画の見直し（モニタリング）も行います。

また当事業所は、「精神障がい者支援体制加算」の指定を受けています。



障がい者福祉のしおりべんり帳

障がい児相談支援事業

必要な各々の機関と連携しながら、障がい児と家族の生活向上のために必要である支援の計画を作成します。

相談窓口

亀の子サポートセンター

TEL0854-83-7278
月曜～金曜日 8:30～17:30



ジョブ亀の子

自立・就労の支援

障がい者が職業生活により、地域で自立が実現できるよう就労と日常・社会生活上の課題に取り組み、支援を行っています。

障がい者就業・生活支援センター

障がい者のための職場開拓と職業実習の機会を与えることで、地域の中で自立した生活が送れる様にお手伝いをする施設です。窓口相談から、基礎訓練、就労後の定着のためのあらゆる相談・支援を行っています。

障がい者には

- 求人・求職活動のアドバイス
- 各種支援制度の紹介
- 職業訓練
- 職場復帰
- 職場でのトラブル相談

利用対象者

大田市、邑智郡在住の障がい者。精神・知的・身体・発達・高次脳などの障がい者で、職業生活による自立が可能と見込まれる。

事業所には

- 障がい者雇用の相談・アドバイス
- サポート制度の紹介
- 研修会の実施



相談窓口

ジョブ亀の子

TEL0854-84-0273
月曜～金曜日 8:30～17:30



地域活動支援センターのほほん

創作活動憩いの場

創造と生活活動、地域交流の体験できる場と機会を提供。自立と社会参加を支援します。地域、医療、福祉の連携強化、住民のボランティア育成も行っています。

地域社会と共生を進める啓発事業

障がいを正しく理解いただくために地域の方々への見学、実習、相談を受け入れています。障がいのある方の家族会の協力を得て、障がい者を持つ家族の相談支援も行っています。

地域の方々も一緒にお茶会や様々な創作・文化活動、軽スポーツ活動を行っています。家族相談支援事業も行っています。



お茶会



ハロウィン 亀の子祭

高次脳機能障がい者支援拠点事業

圏域コーディネーターを配置し、大田市、邑智郡の高次脳機能障がい者支援を行っています。

お問い合わせ

地域活動支援センターのほほん

TEL0854-82-3077
月曜～金曜日 8:30～17:30

タートルホーム

障がい者の住まい

就労、障がい福祉サービスを利用する精神・知的障がい者へ日常生活のための住居を提供しています。

共同生活援助事業

就労と就労継続支援活動の一環として、地域での日常生活が安心して行える住まいを提供しています。



共同生活住居

タートルホーム

定員 10名

コーボ亀の子Ⅱ

定員 5名

コーボ亀の子Ⅲ

定員 4名

お問い合わせ

タートルホーム

TEL0854-82-3077
月曜～金曜日 8:30～17:30



障がい者自立サポート



障がい者の自立支援

うどん処
おおだ

ふぁみりー
わーく

亀の子
工房

遊亀館

自立を
サポート
します



日常生活上の訓練・支援

障がい者が地域で自立するための訓練を行い、自分らしく生き生きと暮らせるよう、支援を行っています。

生活介護事業

生活リズムを整え日常生活が円滑に行えるよう、傾聴を大切に困り事にタイムリーに対応します。また生産活動やレクリエーション等あらゆる場面において自立の促進、身体機能の維持向上を目的とし、認め合い、自信と安心につなげる支援を行います。

料理教室



経験を通して
社会参加を
します。

レクリエーション



レクリエーション活動を通して、心と体を躍らせてリフレッシュを図ります。

SST(社会生活技能訓練)



自分の気持ちや考え方をより上手に伝える方法を、実際にロールプレイ(役割演技)をして学びます。

就労に向けた訓練・雇用

一般就労が困難な障がい者に適切な訓練を行っています。また、雇用契約に基づく就労の場と機会を提供しています。

就労継続支援(A型)事業

通常の事業所に雇用されることが困難であって、雇用契約に基づいた就労の場と機会を提供、就労することの喜びや厳しさを得るよう支援を行い、社会人として必要な知識及び能力向上のための訓練習得を行います。また、一般就労への移行に必要な支援を行います。



食堂の就労実践

品質管理を徹底し、地域の方に喜んで頂けるうどんを提供しています。

- 製麺補助 ●天ぷらやトッピングメニューの調理 ●レジと接客対応 ●洗い物 など一人ひとりが役割を持ちいききと作業を行っています。



亀の子工房

就労に向けた訓練・支援

障がい者の適正能力に応じた訓練と支援で自立可能な地域社会の生活と就労のサポートを行っています。

就労継続支援(B型)事業

通常の雇用契約に基づいた就労が困難な障がい者には、各々の適性に応じて豆腐作り、給食作りの工房を提供して就労に必要な訓練習得の支援を行っています。

豆腐工房



生産活動により
地域の参加を
促しています。

大田で収穫された地元の大豆を使い、こだわり豆腐の製造と販売をしています。

給食工房



おいしい!健康!の給食の販売と提供をしています。亀の子の豆腐やガンモ、おからの惣菜つくりと販売も手がけています。

遊亀館 ゆうきかん

就労に向けた訓練・支援

一般就労が様々な理由から困難な障がい者に適切な就労訓練と就労のサポートを行っています。

就労継続支援(B型)事業

通常の事業所に雇用されることが困難である人に、就労訓練の場と機会を提供。社会人として必要な知識及び能力向上のための習得を配食サービス、施設外就労に分かれて行っています。

配食サービス



高齢者や毎日の栄養管理が必要な方向けの弁当や、事業所向けの弁当の製造・配達を行っています。

施設外就労



たから保育園の清掃、かめっ子クラブでの見守りサポート、ぶどう園での農作業などを行っています。

遊亀館

お問い合わせ

TEL0854-84-0271
月曜～金曜日 8:30～17:30



お問い合わせ

ふぁみりーわーく
TEL0854-82-7882
月曜～金曜日 8:30～17:30

お問い合わせ

うどん処おおだ
TEL070-4321-1570
月曜～土曜日 8:30～17:30

お問い合わせ

亀の子工房
TEL0854-82-3077
月曜～金曜日 8:30～17:30

子どものびのびサポート



認可保育所 たから保育園 明るく! 楽しく! ゆたかな心! 地域で育てる健やかな子どもたち

「子は宝」これが「たから保育園」名付けの由来です。
園内では、0歳～5歳児の子ども達が毎日楽しく過ごしています。地域保育を大切に、人との交流を広げ、ひとりの人間として尊重し、一人ひとりの成長を見守っています。

保育目標

- 心身ともに健康で心豊かな子ども
- 協調性、自主性のある明るい子ども
- よく見、よく聞き、よく考え、行動できる子

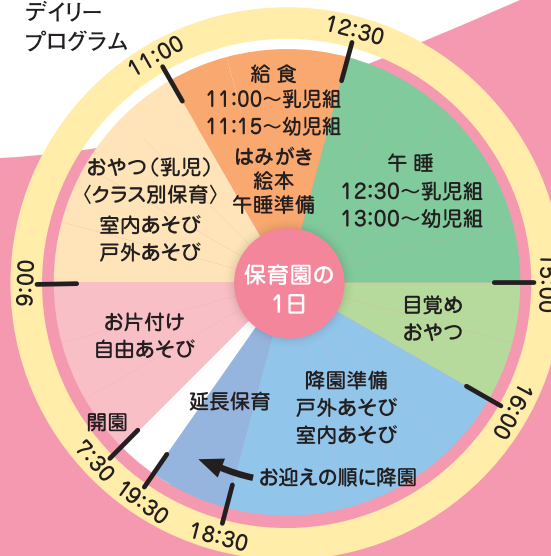


利用定員(50名)

- 5歳児 (ぐいこ組)
- 4歳児 (きず組)
- 3歳児 (はま組)
- 2歳児 (べんてん組)
- 1歳児 (ふくろ組)
- 0歳児 (びしゃもん組)

●延長保育・障がい児保育・病児保育(体調不良型)を行っています。

たから保育園の
デیلیー
プログラム



各年齢・発達に応じたカリキュラムで

- 読み聞かせ
- 園庭あそび
- 室内あそび



たから保育園の楽しい行事



礼拝

月に2回の礼拝があります。理事長先生の自宅「瑞応寺」礼拝と、園内の観音様へ礼拝し、感謝と礼儀の心を育みます。



お茶のお稽古

表千家のお抹茶の作法を学びます。年長児は卒園式後に開かれる親子茶会でお点前を披露します。



食育

食べる力は生きる力を育みます。料理、食事、食物の収穫体験を通して、食べることの大切さを学びます。



英語

楽しい教材や歌、踊りを交えて英語に触れます。子ども達の大好きな英語学習の時間です。

施設紹介



みんなを応援します!

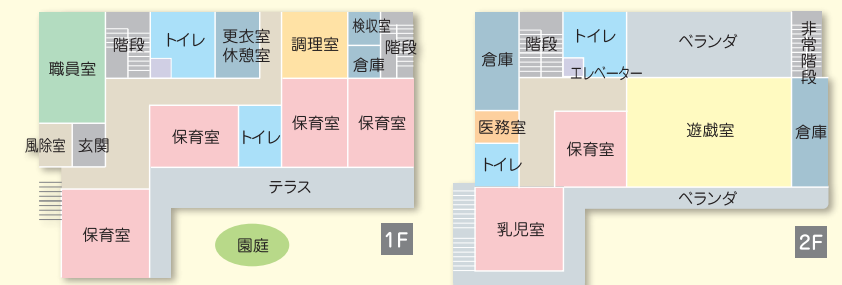
相談窓口

たから保育園

TEL0854-83-7880

月曜～土曜日 7:30～18:30(延長保育19:30まで)

園内マップ



子どものびのびサポート



障がい児の日中支援 かめっ子クラブ かめっ子クラブⅡ

未就学児から学齢期の心身障がい児に対して、遊びと文化活動を通じて何ごとにも楽しんで学び、健やかな発育を支援しています。

年間スケジュール

4月 花見
消防署見学



10月 亀の子祭



5月 端午の節句



11月 作品展



6月 親子遠足



12月 クリスマス会



7月 セタ・救急法
プール遊び



1月 書初め・初詣
風揚げ



8月 海水浴
プール遊び



2月 節分祭・雪遊び



9月 避難訓練



3月 ひな祭り・避難訓練
お別れ会



お問い合わせ

かめっ子クラブ

TEL0854-82-3077 月曜～土曜日

かめっ子クラブⅡ

TEL0854-83-7882 月曜～土曜日

運営方針

- 児童・生徒が集団の中で生活していく力を身に付けることができるよう、活動や訓練を実施します。
- 未就学児に対しては、日常生活における基本的な動作の指導、集団生活への適応訓練など、その子どもに必要な支援を行います。

●放課後等デイサービス事業

障がいのある就学児童(小・中・高校生)が学校の授業終了後や長期休暇中に通います。生活力向上のためのプログラム活動を通じて障がい児の支援を目的としています。

ミュージックケア

月に1回、講師の方によるミュージックケアを行います。リズムに合わせて体を動かしたり、楽器や風船を使ったり、みんなが楽しめる音楽療法です。

読み聞かせ(おはなし会)

地域のボランティア(ダンボの会)によるおはなしの会です。童話や地域に伝わる昔ばなしなど、いろいろなお話しの読み聞かせをしています。

- 誕生日会 ● 障がい児支援研修会

ミュージックケア



お話し会

クッキング

陶芸



みんなを
応援します!

亀の子は地域に密着した障がい福祉と児童福祉に取り組んでいます。年間を通して、障がい者、家族、地域、そして職員を交えてたくさんの行事を行っています。

2月 節分祭

物部神社の節分祭に参加します。たから保育園・かめっ子クラブでは、豆まきを行っています。



3月 卒園式

園児は保育園でたくさん経験をして大きくなります。



4月 入園式

たから保育園の新しい子どもたちの入園です。



5月 親子遠足

たから保育園では、親子で楽しく遠足に行きます。



1月 もちつき

新年を祝って利用者が一致協力してお餅をつき、お雑煮をいただきます。



12月 ふれあい フェスティバル おおだ

人権週間と障がい者週間啓発事業で啓発を行っています。



ぬくもりサポーン

亀の子
365
DAY's

6月 ボウリング 大会

利用者の皆さんは楽しみにしておられます。



7月 保護者を招いて 「なつまつり」

たから保育園では、保護者を招いてのなつまつり会を行います。



8月 納涼祭

利用者・職員・地域の皆さんで賑わいます。



11月 研修旅行

利用者の皆さんの社会見学のために旅行に行きます。



10月 亀の子祭

地域の皆様への感謝をこめて、行っています。



9月 大田市障がい者 スポーツ大会

市内の障がい者施設が集まり、スポーツを楽しんでいます。



キャリア教育



合同研修会
利用者交流会
地域交流会
職員研修

地域の方と共に学ぶ 研修会

●障がい児支援研修会

鳥取県立総合療育センターの北原シニアディレクターにアドバイスをいただきながら事例研修会を開催しています。



●大田圏域 高次脳機能 障がい者 支援研修会



●障がい者就労支援 ネットワーク強化・充実事業 (マナーセミナー等)

●一般就労体験発表

学び、知る、理解を深める

障がいのある方も、私たちと一緒に学び共に成長する。これが亀の子のモットーです。地域の人も、障がい者もスタッフもみんなが楽しく生活できるそれが私たちの目指す社会です。



利用者と職員の合同研修会

支援事業所利用者交流会

2か月に1回程度
次のような研修会を
開催しています。

●人権擁護について



●虐待防止について



●交通安全教室



●健康講座



職員研修

県内外の研修に
積極的に
参加しています。

●新入職員研修

新入職員には、制度・支援について研修を行っています。



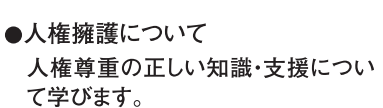
●鳥根県精神保健福祉大会

精神保健と精神障がい福祉の向上を目的としています。



●SST研修

SSTの専門家である高森信子先生に学びます。



●福祉職員キャリアパス対応生涯研修

職員に必要な能力の向上を段階・体系的に習得します。

●島根県保育研究大会

地域における子育ての支援のあり方について学びあいを深めます。

●福祉サービス苦情解決研修会

苦情解決の意義・目的について学びます。

職場体験プログラム (援助技術実習施設)

●精神保健福祉士養成・社会福祉士養成

養成校の実習指定校となり、実習生の受け入れを行っています。

●介護等体験受け入れ施設

小・中学校の教諭の普通免許状授与にかかる介護等体験施設です。

被災障がい者の防災拠点

亀の子工房 防災センター

この施設は、災害時に被災障がい者等の受け入れが可能な設備を備えた防災拠点として設置されました。亀の子工房防災センターでは、障がい者を30名程度受け入れる事ができます。阪神淡路大震災クラスの地震にも耐えられる設計となっています。通常は研修等に活用しています。

会議室

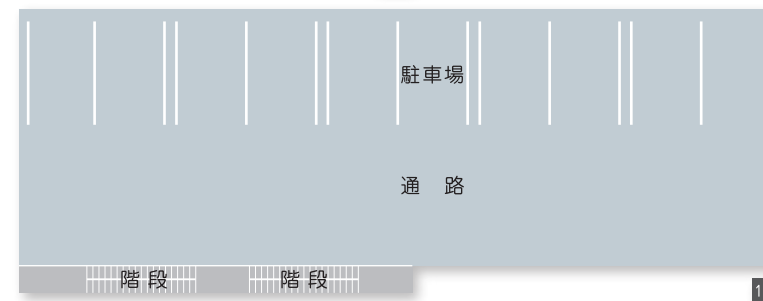
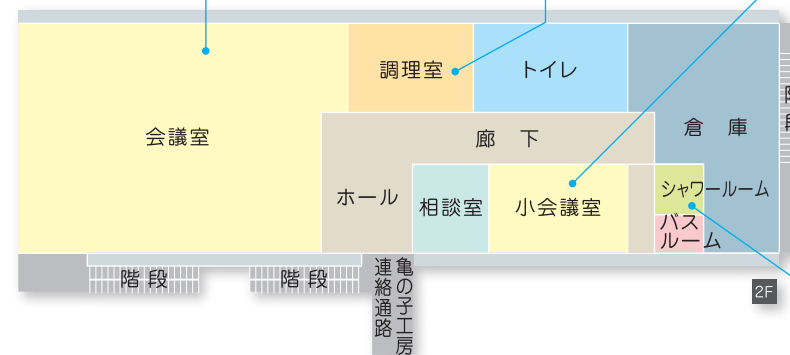


調理室



災害時には避難者の生活スペースになります。通常は研修・レクリエーション活動に利用しています。

普段は、学校給食用カット野菜を作っていますが、災害時には、避難者の食事を作ります。



施設概要

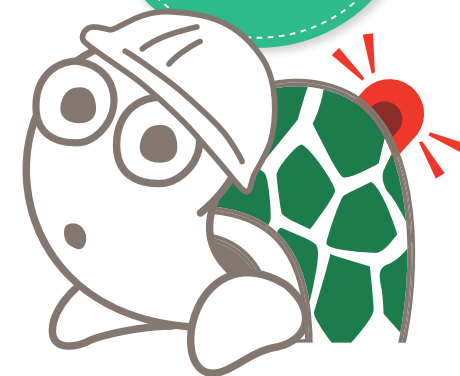
延床面積 270㎡

建物構造 鉄骨造(地上2階)

設備 1F／駐車場 普通車10台 2F／会議室、小会議室、相談室、調理室、倉庫、トイレ、シャワールーム、バスルーム、連絡通路

大田市指定 福祉避難所

地域での災害時にも
活用されます。



小会議室



支援会議を行っています。

シャワールーム



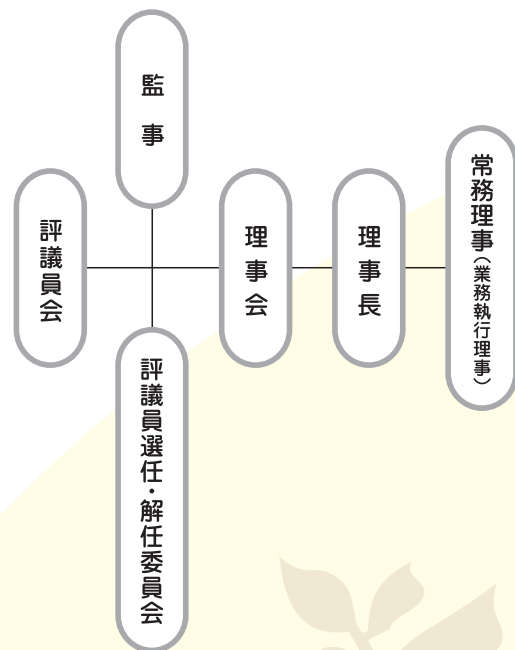
バスルーム



亀の子工房

TEL0854-82-3077
月曜～金曜日 8:30～17:30

お問い合わせ



本部

第三者委員
(苦情解決)

障がい者
自立サポート

子ども
のびのびサポート

① 亀の子サポートセンター
TEL0854-83-7278 FAX0854-84-0272

② ジョブ亀の子
TEL0854-84-0273 FAX0854-84-0272

③ 地域活動支援センターのぼほん
TEL0854-82-3077 FAX0854-82-3952

④ タートルホーム
TEL0854-82-3077 FAX0854-82-3952

④ 共同生活住居 タートルホーム

⑤ 共同生活住居 コーボ亀の子Ⅱ

⑥ 共同生活住居 コーボ亀の子Ⅲ

⑦ ふぁみりーわーく
TEL0854-82-7882 FAX0854-86-7815

⑧ うどん処おおだ
TEL070-4321-1570

⑨ 亀の子工房
TEL0854-82-3077 FAX0854-82-3951

⑩ 遊亀館
TEL0854-84-0271 FAX0854-84-0272

⑪ たから保育園(認可保育所)
TEL0854-83-7880 FAX0854-83-7881

⑫ かめっ子クラブ
TEL0854-82-3077 FAX0854-82-3952

⑬ かめっ子クラブⅡ
TEL0854-83-7882 FAX0854-83-7882

亀の子
施設マップ



さわやかに、明るく、さりげなく、豊かな出会いを



名称 社会福祉法人 亀の子

所在地 〒694-0041 島根県大田市長久町長久口267-6

設立 平成8年9月18日

代表 理事長 森山 康仙

法人の目的

この社会福祉法人は、多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が個人の尊厳を保持しつつ、心身ともに健やかに育成され、又は自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援することを目的とする。



- 平成7年4月 社会福祉法人設立準備室設置
- 平成8年8月 社会福祉法人亀の子認可
- 平成9年4月 通所授産施設「亀の子工房」開所
福祉ホーム「タートルホーム」開所
- 平成10年4月 地域生活支援センター「亀の子ライフサポートセンター」開所
- 平成10年10月 グループホーム「コーボ亀の子Ⅰ」開所
- 平成14年4月 福祉工場「遊亀館」開所
- 平成16年4月 通所介護「亀の子デイサービス」開所
- 平成16年10月 グループホーム「コーボ亀の子Ⅱ」開所
- 平成18年4月 介護予防通所介護「亀の子デイサービス」開所
- 平成18年10月 「タートルホーム」・「コーボ亀の子Ⅱ」を共同生活援助に移行
- 平成19年4月 「亀の子工房」を就労移行支援・就労継続支援B型・自立訓練に移行
障害者就労支援センター「ジョブ亀の子」開所
- 平成22年4月 「ふぁみりーわーく」生活介護・自立訓練を開所
「遊亀館」を就労継続支援A型に移行
共同生活援助「コーボ亀の子Ⅲ」を開所
「ジョブ亀の子」を「障害者就業・生活支援センター」に変更
- 平成25年4月 認可保育所「たから保育園」を開所
放課後等デイサービス「かめっ子クラブ」を開所
「亀の子工房」を就労継続支援B型の単一事業所へ変更
- 平成27年4月 放課後等デイサービス「かめっ子クラブⅡ」開所
- 平成28年4月 通所介護「亀の子デイサービス」閉所
- 平成29年4月 放課後等デイサービス「かめっ子クラブⅢ」開所
- 平成30年4月 「遊亀館」就労移行支援事業を開所
- 平成31年3月 「かめっ子クラブⅢ」閉所
「ふぁみりーわーく」の自立訓練を終了
- 令和4年4月 「遊亀館」を就労継続支援B型へ変更
- 令和4年5月 「うどん処おおだ」就労継続支援A型を開所



障害者週間にちなみ 行幸啓

令和4年2月10日(木)に「障害者週間にちなみ行幸啓」が、オンラインにて亀の子で行われ、天皇皇后



両陛下と「かめっ子クラブ」「亀の子工房」の利用児者が画面越しに交流をいたしました。

障がい児や障がい者が亀の子にてどのような活動を行っているのかを、ミュージックケアのバラバルーンの活動や豆腐製造の動画を通してご覧いただきました。

その後、両陛下と利用児者代表6名との交流をおこないました。両陛下に利用児者の日頃の活動に興味を持っていただきました。また、代表の皆さんは緊張をしていますが、ご質問にはきはぎと答え、和やかで有意義な時間が過ごせました。



両陛下の笑顔や、やさしさに触れることができたのは、大変光栄なことであり、また、参加者一同元気を頂くことができました。